

「特発性間質性肺炎：Fibrosing Variant of Organizing Pneumoniaに関する研究」について

当院では、標記研究を実施しております。

1. 研究意義、目的

原因不明の間質性肺炎を特発性間質性肺炎（IIPs）と呼び、我が国では指定難病となっています。特発性間質性肺炎は幾つかの間質性肺炎に分類されますが、詳細な検討でも分類されない場合、分類不能型と呼ばれます。中でも線維化を伴う器質化肺炎（Fibrosing Variant of Organizing Pneumonia）（FOP）と呼ばれる間質性肺炎について、全国から症例を募集し、多数例で、臨床、画像、病理所見を検討いたします。

この研究により難病とされながらも実体が不明であったFOPについて、病態が明らかにされ、間接的に難病の克服を目指します。

2. 研究対象

2013年以降外科的肺生検が施行され、各施設でMDDの結果、特発性間質性肺炎の一型である、線維化を伴う器質化肺炎（FOP）と診断された患者様。2013年以前の患者様についても再検討でFOPの基準を満たす場合も登録いたします。全国から20-30名の患者様の資料を集める予定です。

3. 研究内容

患者さんの臨床情報、CT、病理検査をカルテから調べて、病気の内容、病気の程度、治療内容、検査データなどを調査します。記入されたアンケートは、匿名化し、NHO近畿中央胸部疾患センターで保存解析されます。

4. 方法

臨床データ、CT、病理所見を全国から収集し、本年度検討会（2016年8月予定）で詳しい検討を行います。

5. 個人情報の取り扱い

個人情報、資料（臨床情報など）は全て匿名化し、近畿中央胸部疾患センターにて保存いたします。

この研究に関しご不明な点がございましたら下記へお問い合わせ下さい。

研究代表者 井上義一

施設研究責任者 井上義一（NHO近畿中央胸部疾患センター）

問い合わせ先 TEL 072-252-3021